



皆野町学校教育の在り方に 関する保護者アンケート 調査結果

令和6年 10 月
皆野町教育委員会

目 次

1. アンケートの実施概要	1
調査の目的	1
調査方法	1
設問内容	2
2. 調査結果	3
問1 あなたの年齢(保護者の年齢)	3
問2 お子さんの学年と人数	4
問3 お住まいの地域	5
問 4-1 お住まいの地区の小学校について満足していること	6
問 4-2 お住まいの地区の中学校について満足していること	7
問 5-1 お住まいの地区の小学校について心配に思っていること	8
問 5-2 お住まいの地区の中学校について心配に思っていること	9
問6 児童生徒にとってよりよい教育環境にするために重要だと思うこと	10
問8 通学距離が伸びた場合に通学手段として希望する方法	12
問9 小学校が統合・再編される場合に配慮してほしいこと	13
問10 今後の皆野町の学校教育に期待すること	14
問11 今後の学校教育の在り方についてのご意見	15

1. アンケートの実施概要

調査の目的

小学校の統合再編や、今後の小・中学校の在り方について、検討の参考とするため、広く保護者の方から意見を伺うアンケート調査を実施した。

調査方法

○調査対象：令和6年8月1日現在、中学3年生以下のお子さんがある計486世帯すべての保護者
(1世帯につき1回答)

○抽出方法：住民基本台帳より抽出

○調査方法：郵送による配布/Web アンケートフォームによる回答
(令和6年9月5日に郵便局より発送)

○調査期間：令和6年9月5日～9月20日

○調査内容：◎回答者の属性
◎現在の学校について
◎小学校の統合・再編について
◎今後の小・中学校の在り方について

○回収結果

配布数(a)	486票
有効回答数(b)	266 票
有効回答率(b)/(a)	54.7 %

※集計に関する留意事項

・回答 ID の誤り、重複回答は無効とした。
(無効数:2件)

※表記に関する注釈

・調査結果は、比率を全て百分率(%)で表し、小数点第2位以下を四捨五入して表示している。そのため、比率の合計が100.0%となっていない場合がある。

※学区別の分析について

・町内全体の数値のほか、「問3お住まいの地域」の回答に基づき町立小学校の学区別の数値を算出した。

皆野小・・・大字皆野、大字下田野

国神小・・・大字金崎、大字国神、大字大淵、大字野巻、大字下日野沢、大字上日野沢、大字金沢

三沢小・・・大字三沢

設問内容

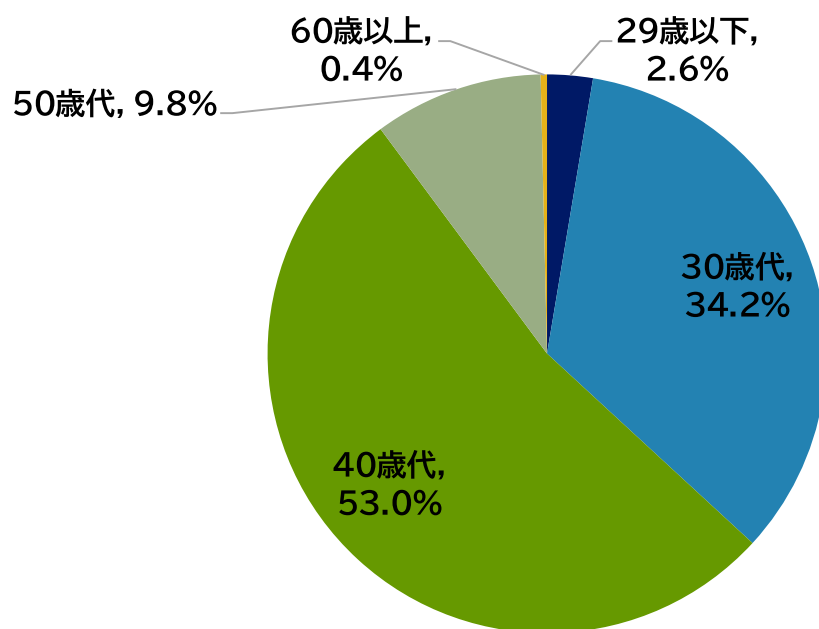
本調査の設問内容は以下のとおりである。

問 1	あなたの年齢(保護者の年齢)を教えてください。
問 2	お子さんの学年と人数を教えてください。
問 3	お住まいの地域を教えてください。
問 4-1	お住まいの地区の小学校について、満足していることはどんなことですか。
問 4-2	お住まいの地区の中学校について、満足していることはどんなことですか。
問 5-1	お住まいの地区の小学校について、心配に思っていることはどんなことですか。
問 5-2	お住まいの地区の中学校について、心配に思っていることはどんなことですか。
問 6	児童生徒にとってよりよい教育環境にするために、重要だと思うことを3つ以内で選び、該当する番号を3つまで選択してください。
問 7	小学校が統合・再編される場合、心配なことはありますか。該当する番号を3つまで選択してください。
問 8	小学校の統合・再編により、家から学校までの距離が伸びた場合、通学手段として希望する方法は何ですか。該当する番号を選択してください。
問 9	小学校が統合・再編される場合、配慮してほしいことは何ですか。該当する番号を3つまで選択してください。
問 10	今後の皆野町の学校教育にどのようなことを期待しますか。それぞれの項目に最も近いものを次のア～エから1つ選んでください。
問 11	今後の学校教育の在り方について、ご意見があれば記入してください。

2. 調査結果

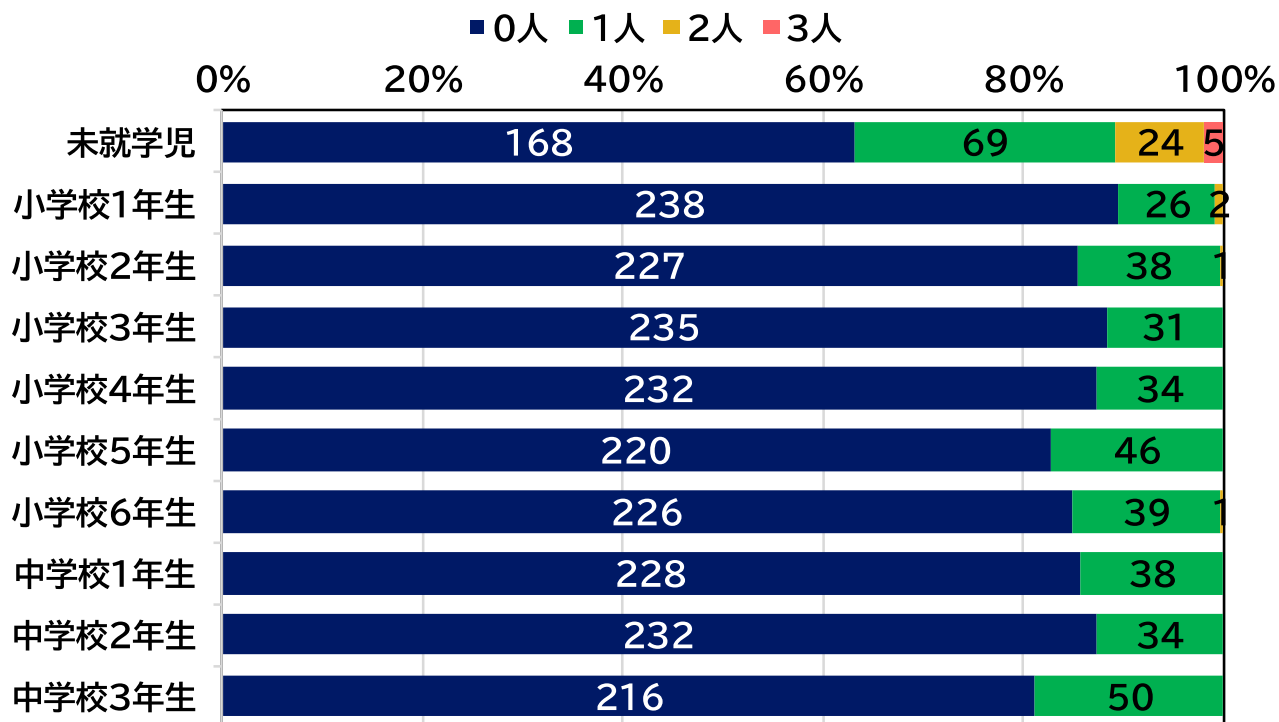
問1 あなたの年齢(保護者の年齢)

29歳以下	7	2.6%
30歳代	91	34.2%
40歳代	141	53.0%
50歳代	26	9.8%
60歳以上	1	0.4%
全体	266	100.0%



問2 お子さんの学年と人数

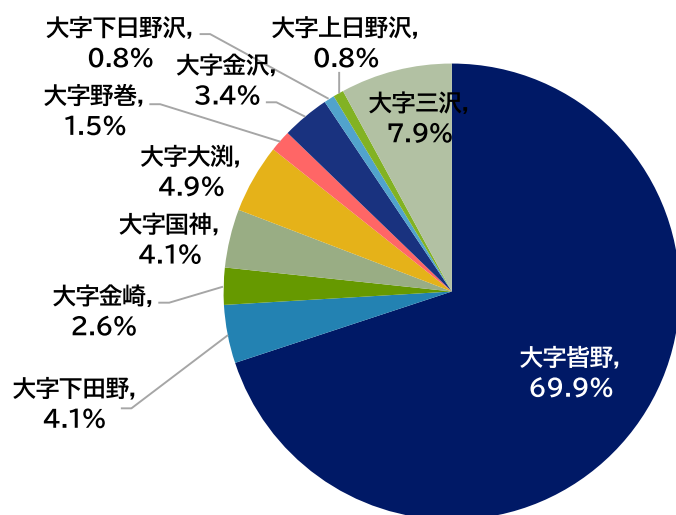
問2 お子さんの学年と人数を教えてください	全体	0人	1人	2人	3人
未就学児	266	168	69	24	5
小学校1年生	266	238	26	2	0
小学校2年生	266	227	38	1	0
小学校3年生	266	235	31	0	0
小学校4年生	266	232	34	0	0
小学校5年生	266	220	46	0	0
小学校6年生	266	226	39	1	0
中学校1年生	266	228	38	0	0
中学校2年生	266	232	34	0	0
中学校3年生	266	216	50	0	0



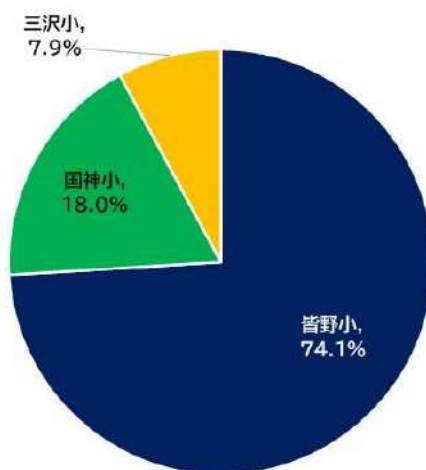
問3 お住まいの地域

大字皆野	186	69.9%
大字下田野	11	4.1%
大字金崎	7	2.6%
大字国神	11	4.1%
大字大湊	13	4.9%
大字野巻	4	1.5%
大字金沢	9	3.4%
大字下日野沢	2	0.8%
大字上日野沢	2	0.8%
大字三沢	21	7.9%
全体	266	100.0%

【地域別 回答割合】



【学校別 回答割合】



問 4-1 お住まいの地区の小学校について満足していること

該当する番号を 3 つまで選択。

選択肢文	全体 (N = 266)		皆野小 (N = 197)		国神小 (N = 48)		三沢小 (N = 21)	
児童生徒一人一人に目が行き届き、きめ細やかな指導が行われている	84	32%	38	19%	31	65%	15	71%
集団の中で多様な考えに触れ、切磋琢磨できる	77	29%	73	37%	3	6%	1	5%
一人一人の活躍の場が作りやすい	46	17%	16	8%	20	42%	10	48%
児童生徒同士の交流が活発で、より良い人間関係が生まれやすい環境になっている	88	33%	62	31%	20	42%	6	29%
ゆとりや安心感のある雰囲気の中で学ぶことができる	76	29%	48	24%	15	31%	13	62%
行事や学習活動など、活気ある集団的活動ができる	100	38%	89	45%	9	19%	2	10%
保護者や地域社会との連携が図られている	30	11%	12	6%	10	21%	8	38%
特にないが、全体的に満足している	56	21%	50	25%	5	10%	1	5%
その他	8	3%	6	3%	0	0%	2	10%
回答総数（延べ数）	565		394		113		58	

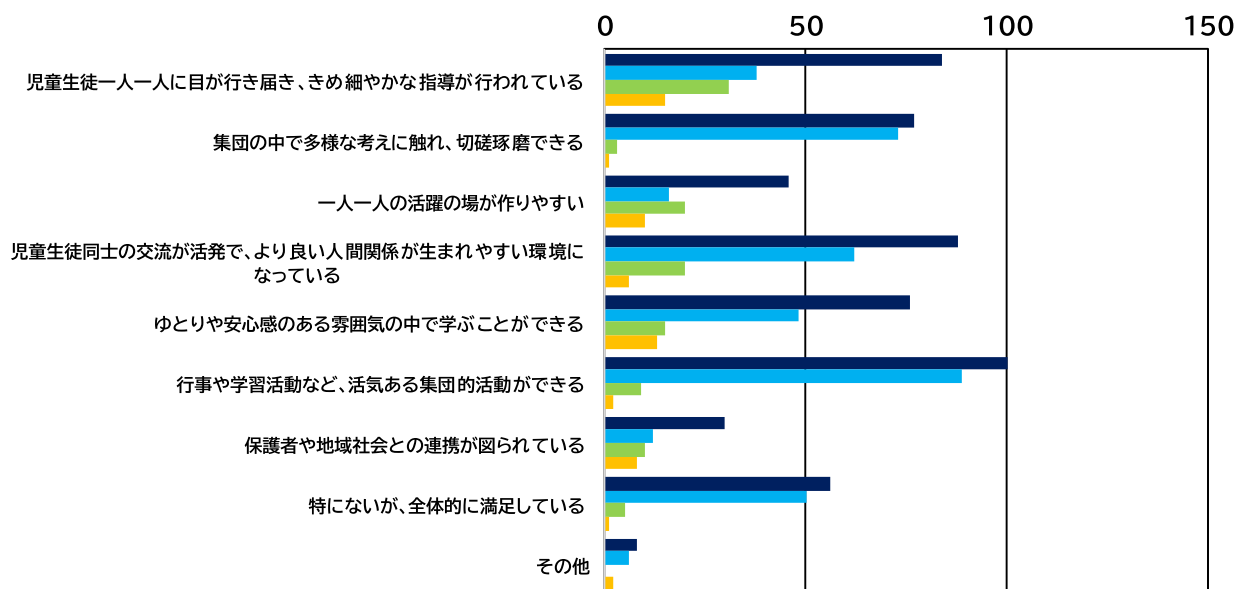
※重複回答のため割合の総和は 100%を超過します

黄:主に小規模校に見られる特徴
青:主に適正規模校で見られる特徴
赤:回答数の多い上位3項目(～49%)
紫:回答数の多い上位3項目(50%以上)

学校区別

回答数(件)

■ 全体 ■ 皆野小学校区 ■ 国神小学校区 ■ 三沢小学校区



問 4-2 お住まいの地区の中学校について満足していること

該当する番号を3つまで選択。

選択肢文	全体 (N = 266)		皆野小 (N = 197)		国神小 (N = 48)		三沢小 (N = 21)	
児童生徒一人一人に目が行き届き、きめ細やかな指導が行われている	75	28%	57	29%	14	29%	4	19%
集団の中で多様な考えに触れ、切磋琢磨できる	109	41%	74	38%	22	46%	13	62%
一人一人の活躍の場が作りやすい	35	13%	30	15%	5	10%	0	0%
児童生徒同士の交流が活発で、より良い人間関係が生まれやすい環境になっている	86	32%	58	29%	22	46%	6	29%
ゆとりや安心感のある雰囲気の中で学ぶことができる	54	20%	43	22%	9	19%	2	10%
行事や学習活動など、活気ある集団的活動ができる	104	39%	68	35%	20	42%	16	76%
保護者や地域社会との連携が図られている	17	6%	12	6%	3	6%	2	10%
特にないが、全体的に満足している	55	21%	44	22%	8	17%	3	14%
その他	14	5%	12	6%	1	2%	1	5%
回答総数（延べ数）	549		398		104		47	

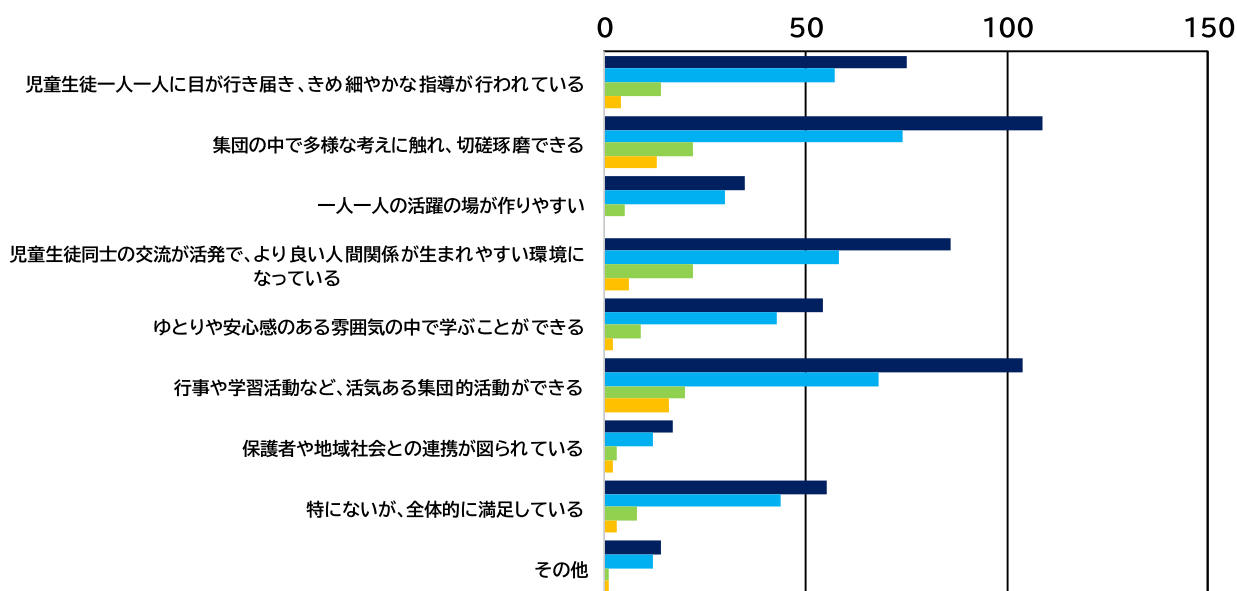
※重複回答のため割合の総和は100%を超過します

■ 主に小規模校に見られる特徴
■ 主に適正規模校で見られる特徴
■ 回答数の多い上位3項目（～49%）
■ 回答数の多い上位3項目（50%以上）

学校区別

回答数(件)

■ 全体
 ■ 皆野小学校区
 ■ 国神小学校区
 ■ 三沢小学校区



問 5-1 お住まいの地区の小学校について心配に思っていること

該当する番号を3つまで選択。

選択肢文	全体 (N = 266)		皆野小 (N = 197)		国神小 (N = 48)		三沢小 (N = 21)	
児童生徒一人一人に目が行き届き、きめ細かな指導が行われているか心配である	56	21%	53	27%	3	6%	0	0%
集団の中で多様な考えに触れ、切磋琢磨できる機会が少ない	45	17%	15	8%	19	40%	11	52%
一人一人の活躍の場が作りにくい	18	7%	17	9%	1	2%	0	0%
人間関係が固定化し、コミュニケーション能力が育ちにくく感じ、心配である	83	31%	53	27%	20	42%	10	48%
行事や学習活動など、まとまった人数での集団的活動ができない	30	11%	7	4%	13	27%	10	48%
PTA活動などにおいて、保護者への負担が大きい	82	31%	55	28%	15	31%	12	57%
今後、児童生徒数が減少していくことに不安を感じる	133	50%	105	53%	20	42%	8	38%
特に心配なことはない	39	15%	33	17%	5	10%	1	5%
その他	11	4%	7	4%	3	6%	1	5%
回答総数（延べ数）	497		345		99		53	

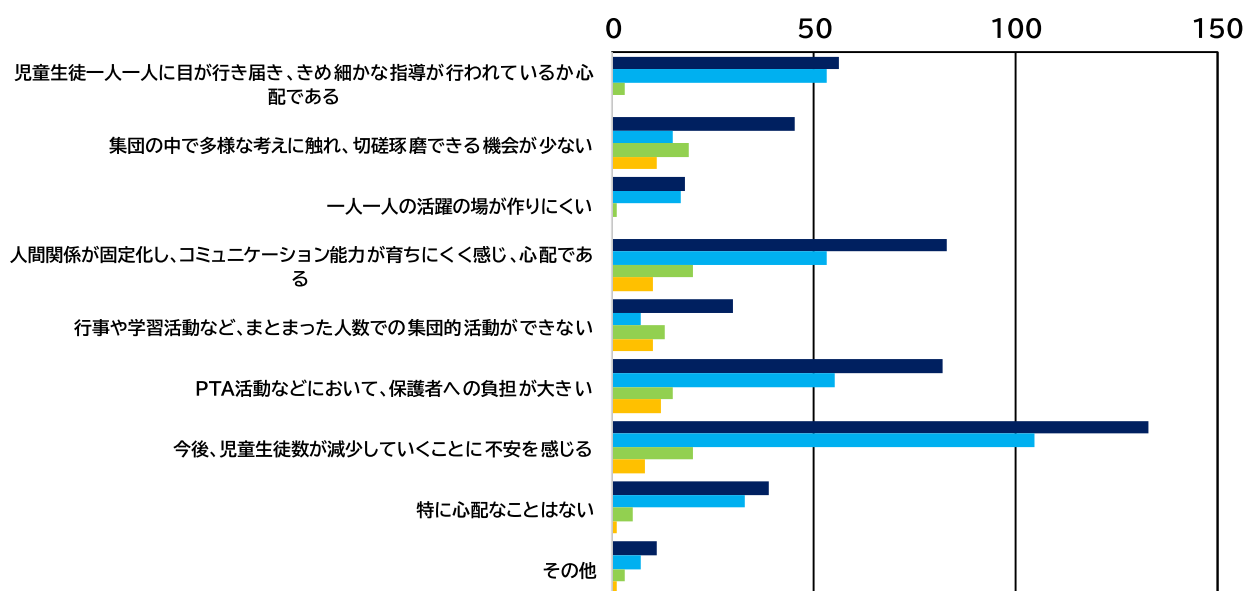
※重複回答のため割合の総和は100%を超過します

■ 主に小規模校に見られる特徴
■ 主に適正規模校で見られる特徴
■ 回答数の多い上位3項目(～49%)
■ 回答数の多い上位3項目(50%以上)

学校区別

回答数(件)

■ 全体
 ■ 皆野小学校区
 ■ 国神小学校区
 ■ 三沢小学校区



問 5-2 お住まいの地区の中学校について心配に思っていること

該当する番号を3つまで選択。

選択肢文	全体 (N = 266)		皆野小 (N = 197)		国神小 (N = 48)		三沢小 (N = 21)	
児童生徒一人一人に目が行き届き、きめ細かな指導が行われているか心配である	87	33%	64	32%	16	33%	7	33%
集団の中で多様な考えに触れ、切磋琢磨できる機会が少ない	29	11%	22	11%	6	13%	1	5%
一人一人の活躍の場が作りにくい	21	8%	13	7%	5	10%	3	14%
人間関係が固定化し、コミュニケーション能力が育ちにくく感じ、心配である	78	29%	59	30%	15	31%	4	19%
行事や学習活動など、まとまった人数での集団的活動ができない	21	8%	15	8%	5	10%	1	5%
PTA活動などにおいて、保護者への負担が大きい	81	30%	59	30%	13	27%	9	43%
今後、児童生徒数が減少していくことに不安を感じる	110	41%	80	41%	23	48%	7	33%
特に心配なことはない	41	15%	33	17%	6	13%	2	10%
その他	17	6%	10	5%	2	4%	5	24%
回答総数（延べ数）	485		355		91		39	

※重複回答のため割合の総和は100%を超過します

黄:主に小規模校に見られる特徴

青:主に適正規模校で見られる特徴

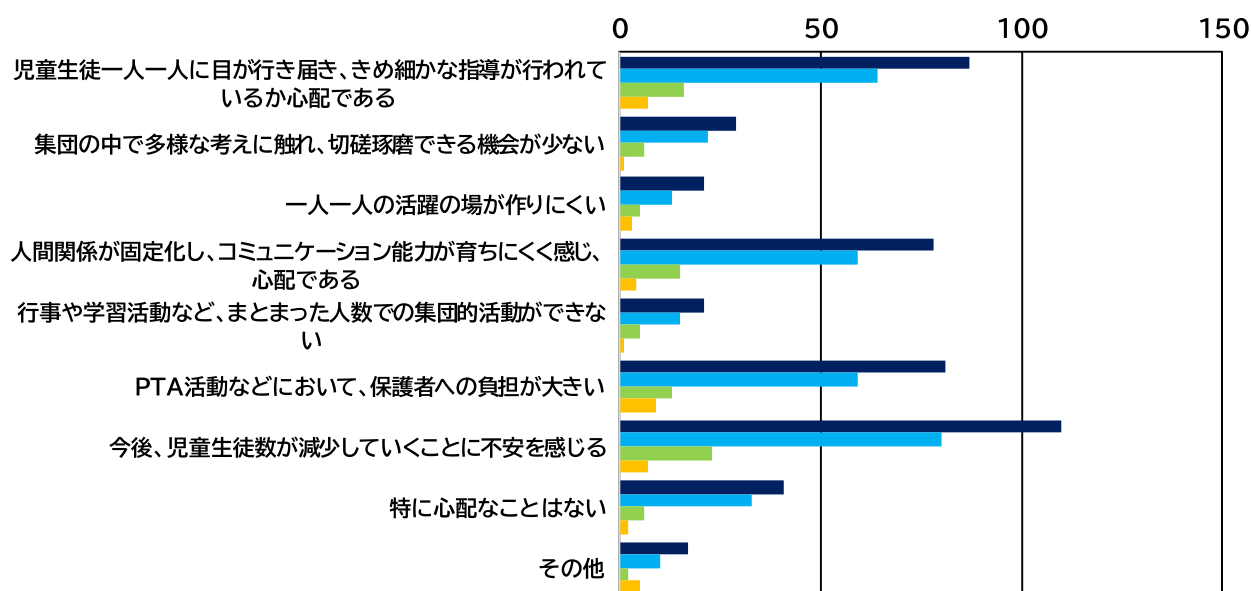
赤:回答数の多い上位3項目(~49%)

紫:回答数の多い上位3項目(50%以上)

学校区別

回答数(件)

■ 全体 ■ 皆野小学校区 ■ 国神小学校区 ■ 三沢小学校区



問6 児童生徒にとってよりよい教育環境にするために重要だと思うこと

該当する番号を3つまで選択。

選択肢文	全体 (N=266)		皆野小 (N=197)		国神小 (N=48)		三沢小 (N=21)	
クラス替えや席替えが行われ、人間関係が固定化しないこと	88	33%	64	32%	14	29%	10	48%
教員の目が行き届きやすく、きめ細かな指導が行われること	138	52%	101	51%	25	52%	12	57%
通学の負担が少ないこと	37	14%	17	9%	11	23%	9	43%
学校の施設や備品が充実していること	62	23%	49	25%	9	19%	4	19%
他の学校や異学年との交流が活発であること	31	12%	22	11%	7	15%	2	10%
地域の大人と関わり、郷土や伝統文化について学ぶ機会があること	55	21%	43	22%	8	17%	4	19%
自分の意見を発表する機会や行事等での役割が多いこと	71	27%	52	26%	16	33%	3	14%
多様な考えの中で社会性やコミュニケーション能力が身に付くこと	165	62%	119	60%	32	67%	14	67%
小・中学校が連携し、連続性・一貫性のある教育が行われること	44	17%	35	18%	8	17%	1	5%
その他	3	1%	3	2%	0	0%	0	0%
回答総数(延べ数)	694		505		130		59	

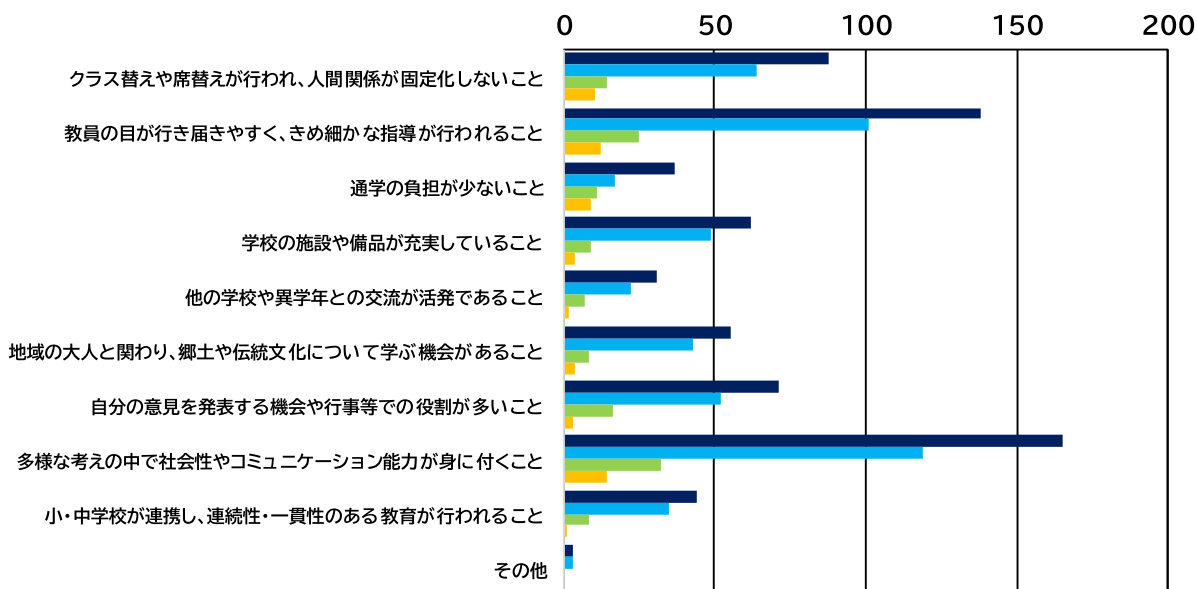
※重複回答のため割合の総和は100%を超過します

黄:主に小規模校に見られる特徴
青:主に適正規模校に見られる特徴
赤:回答数の多い上位3項目(~49%)
紫:回答数の多い上位3項目(50%以上)

学校区別

回答数(件)

■ 全体 ■ 皆野小学校区 ■ 国神小学校区 ■ 三沢小学校区



問7 小学校が統合・再編される場合に心配なこと

選択肢文	全体 (N = 266)	皆野小 (N = 197)	国神小 (N = 48)	三沢小 (N = 21)
環境変化による子どもへの影響（心身の負担）	105 39%	64 32%	33 69%	8 38%
子ども同士の人間関係	123 46%	81 41%	30 63%	12 57%
教職員などの指導体制が変わること	64 24%	56 28%	6 13%	2 10%
通学距離（時間）が伸びたり、通学方法が変わったりすること	95 36%	55 28%	28 58%	12 57%
統合・再編により空き施設となった学校施設の利用	44 17%	35 18%	7 15%	2 10%
学級（学校）の児童数が増えること	26 10%	20 10%	5 10%	1 5%
地域から学校がなくなること	27 10%	18 9%	6 13%	3 14%
保護者の新たな費用負担が生じること	43 16%	33 17%	6 13%	4 19%
その他	18 7%	12 6%	2 4%	4 19%
回答総数（延べ数）	545	374	123	48

※重複回答のため割合の総和は100%を超過します

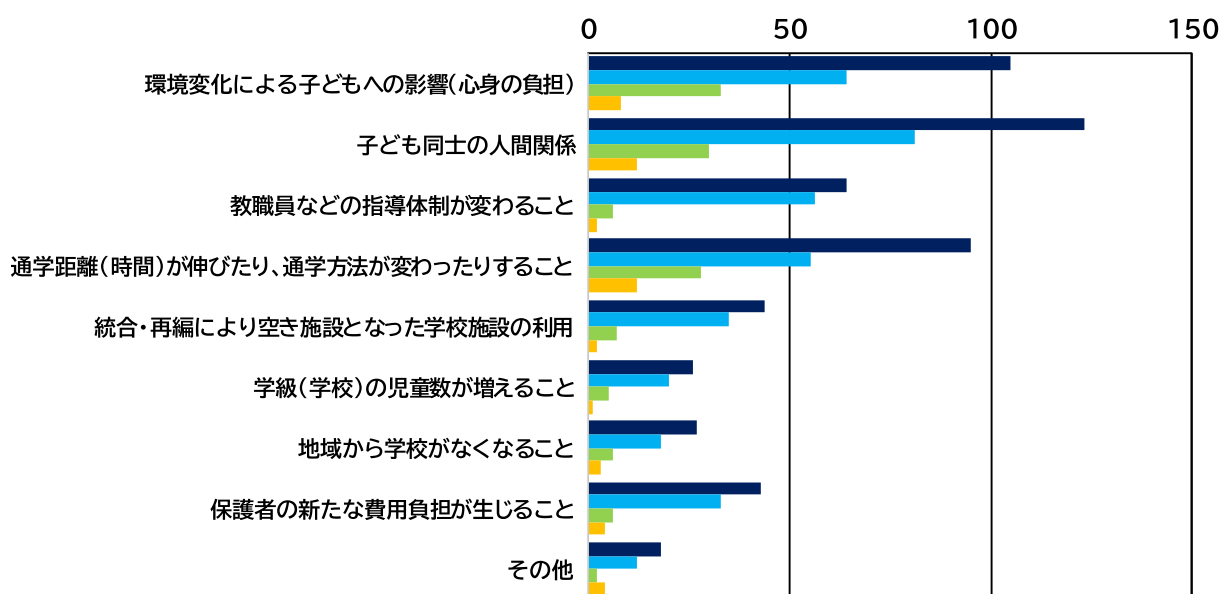
赤: 回答数の多い上位3項目（～49%）

紫: 回答数の多い上位3項目（50%以上）

学校区別

回答数(件)

■ 全体 ■ 皆野小学校区 ■ 国神小学校区 ■ 三沢小学校区



問8 通学距離が伸びた場合に通学手段として希望する方法

選択肢文	全体 (N = 266)		皆野小 (N = 197)		国神小 (N = 48)		三沢小 (N = 21)	
徒歩	32	12%	32	16%	0	0%	0	0%
公共交通（町バス、路線バス）など既存の交通手段	31	12%	21	11%	7	15%	3	14%
スクールバスなど新たな移動手段の導入	199	75%	143	73%	39	81%	17	81%
その他	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
回答総数（延べ数）	262		196		46		20	

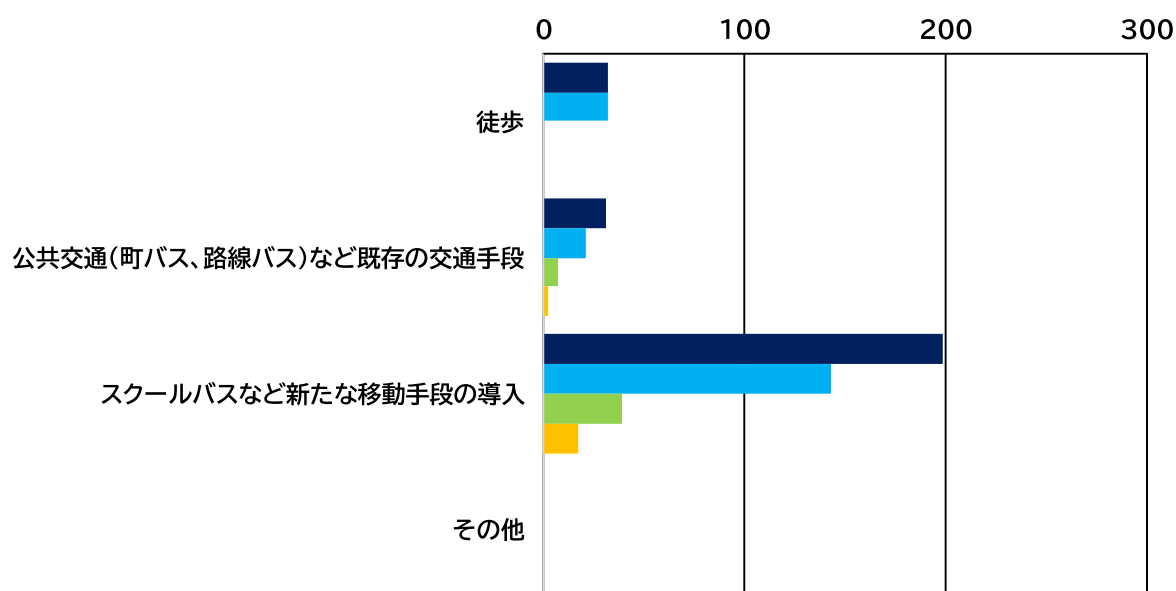
※重複回答のため割合の総和は100%を超過します

紫: 回答数の多い上位1項目(50%以上)

学校区別

回答数(件)

■ 全体 ■ 皆野小学校区 ■ 国神小学校区 ■ 三沢小学校区



問9 小学校が統合・再編される場合に配慮してほしいこと

該当する番号を3つまで選択。

選択肢文	全体 (N = 266)		皆野小 (N = 197)		国神小 (N = 48)		三沢小 (N = 21)	
子どもにとっての環境変化への対応（心身の負担）	141	53%	95	48%	34	71%	12	57%
事前の学校間交流など、円滑な人間関係づくりへの配慮	109	41%	78	40%	24	50%	7	33%
きめ細かな指導ができる教職員体制の確保	104	39%	82	42%	18	38%	4	19%
現在実施している地域学習や地域と関わる活動の継続	22	8%	15	8%	5	10%	2	10%
学校の建物や施設の整備	25	9%	21	11%	4	8%	0	0%
小学校の統合・再編に伴う保護者の費用負担の軽減	41	15%	31	16%	6	13%	4	19%
通学の方法と安全確保に関する対応	145	55%	99	50%	29	60%	17	81%
特別支援教育や個別の支援ができる体制の充実	35	13%	31	16%	3	6%	1	5%
保護者・地域住民への十分な説明	38	14%	26	13%	8	17%	4	19%
その他	8	3%	3	2%	2	4%	3	14%
回答総数（延べ数）	668		481		133		54	

※重複回答のため割合の総和は100%を超過します

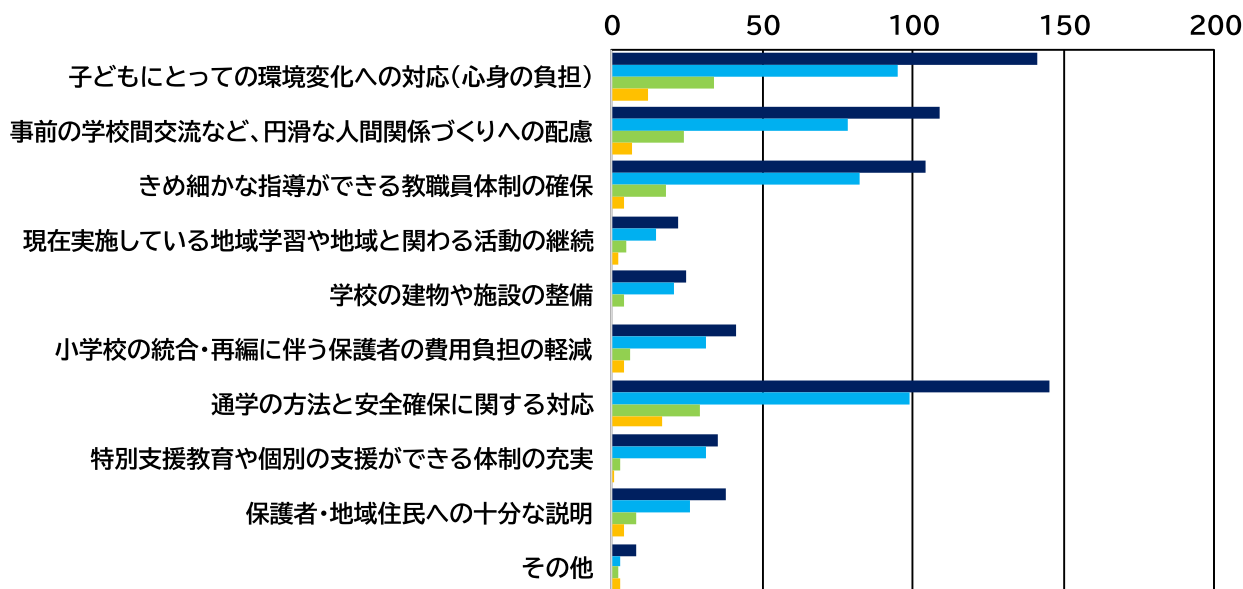
赤: 回答数の多い上位3項目(～49%)

紫: 回答数の多い上位3項目(50%以上)

学校区別

回答数(件)

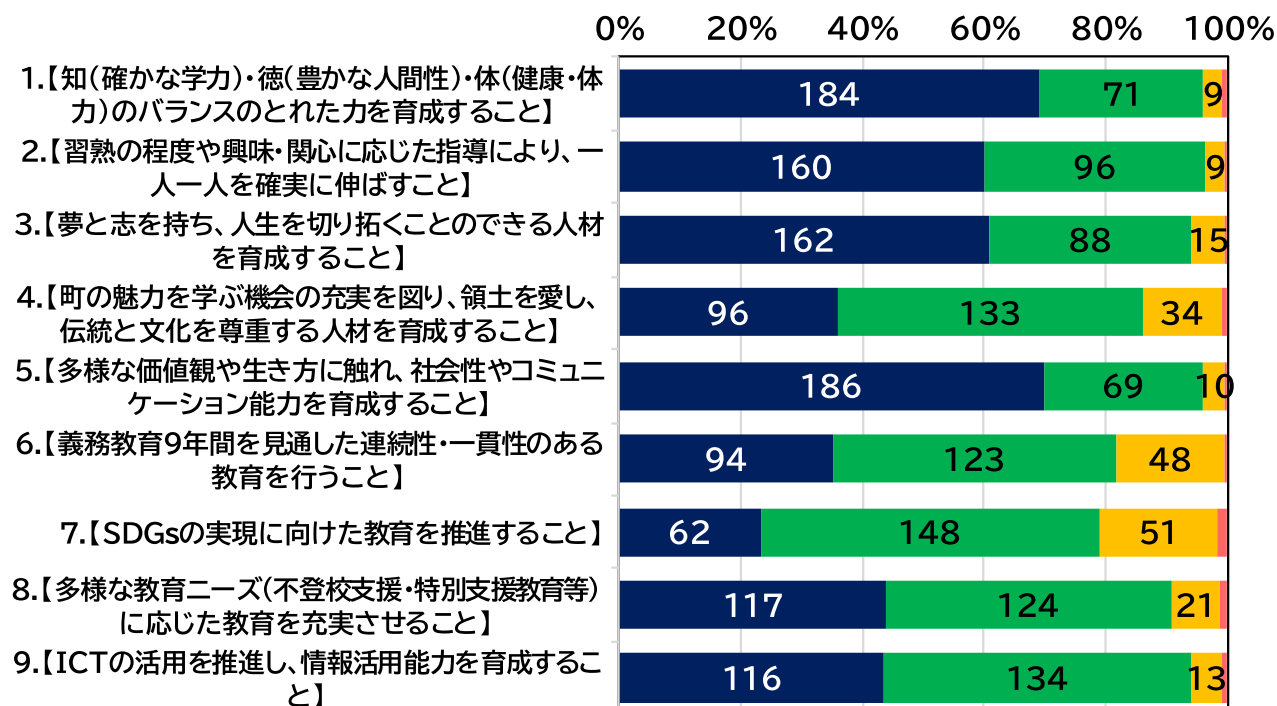
■ 全体 ■ 皆野小学校区 ■ 国神小学校区 ■ 三沢小学校区



問10 今後の皆野町の学校教育に期待すること

問2 お子さんの学年と人数を教えてください	全体	とてもあてはまる	少しあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない
1.【知(確かな学力)・徳(豊かな人間性)・体(健康・体力)のバランスのとれた力を育成すること】	266	184	71	9	2
2.【習熟の程度や興味・関心に応じた指導により、一人一人を確実に伸ばすこと】	266	160	96	9	1
3.【夢と志を持ち、人生を切り拓くことのできる人材を育成すること】	266	162	88	15	1
4.【町の魅力を学ぶ機会の充実を図り、領土を愛し、伝統と文化を尊重する人材を育成すること】	266	96	133	34	3
5.【多様な価値観や生き方に触れ、社会性やコミュニケーション能力を育成すること】	266	186	69	10	1
6.【義務教育9年間を見通した連続性・一貫性のある教育を行うこと】	266	94	123	48	1
7.【SDGsの実現に向けた教育を推進すること】	266	62	148	51	5
8.【多様な教育ニーズ(不登校支援・特別支援教育等)に応じた教育を充実させること】	266	117	124	21	4
9.【ICTの活用を推進し、情報活用能力を育成すること】	266	116	134	13	3

■とてもあてはまる ■少しあてはまる ■あまりあてはまらない ■まったくあてはまらない



問11 今後の学校教育の在り方についてのご意見

自由回答欄を設けた問 11 で回答いただいた意見の原文をそのまま記載する。ただし、「特になし」などの意見は一覧から割愛した。

1. 子供たちのコミュニケーション(人間関係)について

- 上の子は小学校生活の半ばで環境が変わることになりそうです。通学方法の変化・同時に建物や先生も大きく変わり、さらに新しい友達との関係作りをしなくてはなりません。小学校生活も半ばになれば、すでに仲良い子のグループもできていると思います。その中に入りうまくやれるか、とても心配です。事前の学校間交流をかなり多く取り入れてほしいです。
- 小学校の統合には賛成ですが、1 日体験学習のような学校間交流を事前にしっかりと行い、子どもたちの人間関係づくりへの配慮をお願いします。また仮に皆野小学校への統合となれば、三沢地区からは遠距離通学となります。朝は路線バスがありますが、下校時にはないので、スクールバスの導入など通学手段の確保をお願いします。
- 小さな社会の中でトラブルが起きると逃げ場がなく解決が難しいと感じます。人間関係が円滑になることは勉学に励むには大切だと思います。勉学だけでなく子供達が気持ちよく生活できるよう保護者教育にも力を入れて欲しいと思います
- 少数の小中学校で育つと、狭いコミュニティの中でも子供ながら協調性を持ち、それなりに上手く集団生活を送ることができるだろう。だが、その後高校に進学した際に、小中より遥かに大きいコミュニティに投げ込まれ、以前より協調性の必要性を感じなくなる上、個を尊重するようになるだろう。これは必然ではあるが、小中学校在籍時に多様な価値観に触れる事や人的交流が盛んである事が児童の人格形成に優位に働くことは自明ではなかろうか。皆野の子供たちは路上ですれ違っただけでも気持ちよく挨拶ができる、公共の場でもルールを守っている、など他の地域と比較しても快活で礼儀正しいな印象。
- 生徒数が少なくても多くても子供達が楽しく学校に行ける環境であってほしいです。
- 来年度第一子が小学校入学予定です。高学年になってからの統合は人間関係をつくるのに難しさが出てくるのではと不安に思っています。個人的な意見ではありますが、統合するのであれば、少しでも早く統合して欲しいです。
- なるべく、子供たちがイジメをせず 学校に通えるような体制になってくれたら理想であります。
- 生徒数の減少による統合は良いと思います。統合後の子供達の交友関係や心身に対しての配慮や、登下校の安全性の確保をお願いしたいと思います。
- 子供が楽しければ良いと思います。

2. 少人数学級になることについて(複合化のメリット、デメリットについて)

- 小学校統合については賛成ですが、統合される事により、特別支援を必要とする児童への対応が今以上に充実し、障害を持った児童を安心して預けられる学校教育であったり、学童保育を学校内でも行なって欲しいです。例えばですが、秩父市内の学校では『ふれあい』等の名前で校内で放課後保育をしている学校もあると聞きますが、皆野管内では2つの学童保育所しか無いうえに、障害児を安心して預けられる学童保育が無い。
- 現状から考えて、統合には反対です。9年度から、あと2年間で統合には時間的に無理があります。横瀬町、小鹿野町、長瀬町は時間を掛けて地域住民の理解を得て、学校同士の意思疎通を図り、数年間以上掛けて合併しました。皆野町でも日野沢小、金沢小の合併には時間を掛けて慎重に行いましたが、三沢小の合併を焦り失敗した歴史があります。いずれは三沢小と国神小は統合がやむを得ないでしょうが、統合に関する計画を公表して、地域住民の理解を得て、学校同士の意思疎通を図り、

三沢小と国神小の閉じ方をしっかりお願いします。合併の方針が決まってから数年間掛かるとは思いますが。

- 前回の統合提案の時と同様、保護者から統合の希望や提案があったわけではなく、行政が周りの地域の流れや県の意図を受け、ミッションを達成しなくてはいけないかのように統合を進めている感がある。すでに流れは裏で決まっていて、こじつけのように会議を重ね、このようなアンケートをとることに不快感がある。少人数の学校はそれなりの良さがあり、今後全国的にみても貴重な存在になるのではないか。それを町の財産として守っていくことこそ、皆野町にしかできないことなのでは。周りの地域と同じようなことをしているばかりでは町の未来はないですね。
- 皆野小学校では 2 年後に 1 学級の学年が現れ始めますが、1 年生の 1 学級における人数の割合と心のゆとりを考えると 2 学級あった方がいいと思います。教師の目もきちんと届きやすいと思います。早期の統合を希望します。-
- 少子化が進む中で、1 学級数人のクラス編成では子どもにとっても先生方にとっても望む教育が実現されにくいと感じます。地域にとっては、学校がなくなるということが寂しく感じたり、不安に思ったりすることもあると思います。しかし、「変化の激しい社会で生き抜いていける子どもを育てること」が大人に求められることだと思います。そのため、子どもの未来を考えたときに、健全な人間関係が築ける環境で生活させてあげることが今後の課題だと思います。また、特別支援教育の充実、未就学児への支援の充実も町として対応をお願いしたいです。具体的には、保育園や幼稚園(子ども園)の幅広い選択肢、特別な配慮を必要とする未就学児が安心して通える施設の設置などがあると安心して過ごせる町になるとと思います。
- 児童数は少ないですが、今の所トラブルも無く、デメリットは感じていません。一人一人に目が行き届き、コミュニケーションも良く取れるので、わからないことや困ったことなど、先生に話しやすいようです。他学年と仲良く遊ぶことも多いです。もし小学校が統合するのであれば、同じように一人一人に目が行き届く体制を作って欲しいです。もしくは、分校という選択肢も増やして欲しいです。学校までの距離も遠くなるので、起床時間が早くなり、十分な睡眠時間が取れるのかも心配です。

3. 通学について

- 時代のニーズにあわせた、柔軟な改革ができる環境が必要。学校の統合もしかり、その場合の、交通手段についても、既存の路線バスを利用したスクールバス等の用意が必要だと思います。
- 複式学級では、学力を伸ばし集団生活の中で社会性を身につける上で限界があると思います。早期に統合をしていただきたいです。そのうえで、必ず通学手段に心配のないよう、配慮をお願いします。
- 小学校の統合は、不可欠だと思うので、それに向けて、3校で連携しあって、子供たちの交流の計画や行事、教材等の確認等、スムーズに統合できるように進めて欲しいと思います。また、学区も広範囲の為、スクールバスは必要だと思います。
- 複式学級になるより、早く合併してほしいです。登下校が長距離で少人数になる国神、三沢小の地区はバスを出すか 学校で兄弟を待てたり学童に預けやすい等、柔軟な対応をとってもらいたいです

4. これからの学校教育について

- イタリアの教育方法は、障害の子も一緒に教室で過ごします。違いを認め合う教育方法です。宿題も自分自身の意見を先生との面接でどれだけ表現できるかが大切であり、先生が求める正解を求めているわけではありません。人生でも社会でも同じ事がいえるのではないのでしょうか？みんなが平等ではなく、違う個性がぶつかり合う社会が豊かさに繋がると考えております。
- あだ名禁止や、順位つけない徒競走などのよくわからない教育は取り入れないでほしい。
- 教師、町、親が1人1人と向き合って不登校やいじめがなくなり、みんな仲良く勉学に励める環境にして欲しい。

- それぞれの子供に得手不得手があると思う。好きな事には集中も出来ると思うので、得意な分野、興味のある分野をたくさん学ばせてあげ、その子の力になるような教育が出来ればいいと思う。それぞれに得意な事があれば、子供達もお互い尊敬し合えるのではないかな？と思うので。
- 皆野町は、町教委と小・中の繋がりがしっかりしていて、同じ考え方のもとに教育活動が進められているのをとても頼もしく感じています。先生方の研修をさらに推進していただき、先を見据えた質の高い授業を引き続きしていただくよう、よろしくお願いします。保護者として、最大限の協力の姿勢でいます。
- 学校での授業時間は足りていますか？ 先生もシフト制にして、授業時間をあと1時間づつ増やしても良いのではないのでしょうか？
- 私は複式学級も経験している児童が少ない小学生時代でしたが、毎日日記を書いて、そのお返事を少しでもいただけたことは、まだ心に残っています。生徒数に対し先生も限られますが、思いやりの心を待って生徒指導にあたっていたら、親としてはこれ以上ない幸せだと思います。
- 色々な職場を見学させて体験させ、将来その道のスペシャリストになれる可能性を与えてあげて欲しい。お金の使い方も学ばせて欲しい。
- 大人になっても学び続ける長期的視点に立ち、その初期段階にあたる教育として何を大切にすべきかに焦点を絞るとよいと考えます。
- 貴重なアンケートの実施をありがとうございます。アンケートでは触れられていない所についての希望を記述いたします。・個人の学力に合わせた個別カリキュラムや指導方法、クラス分けが必要だと思います。※現在子供が通っている小学校で「子どもの学力を上げるためにはどうすれば良いと思いますか？」というアンケートが来たことがあります。本当に学力をあげたいのであれば教員の人数を増やして、学力に合わせた教育をすべきだと思います。・訳のわからないルールは教育ではなく管理です。これも現在子供が通っている小学校のルールであったものですが「黙って掃除をする」というルールでした。掃除をしていても喋っていると先生に注意されるという訳のわからないルールです。理由があってルールがあるという関係性が感じられないため、子供も注意されても理解できず教員に対する嫌悪しか抱いていないです。保護者が求めるのは管理ではなく教育です。・SDGs を教育に取り入れるのには注意が必要だと思います。SDGs は目標であって選択肢の1つです。大人でさえしっかり理解しているかどうか分からない上に、利権などでコントロールされている可能性も十分にあり得ます。様々な情報を元に自分で選択して考える能力があれば倫理的に答えは出てくるはずです。情報の提供と自分で考えて答えを出す能力を教育していただきたいです。・フィードバックが欲しいです。小学校からくるアンケートでもそうなのですが、今回のようなアンケートで得られた情報のうち、何が採用されどのように教育システムに反映されているのか全くわかりません。情報の通達もないため評価基準がありません。以上、よろしくお願い申し上げます。
- 皆が同じことができるようにするのではなく、できない事も個性だと言うことを認め、得意なことを見つけ得意なことを伸ばして欲しいです。
- 生きていく知識を養ってほしい。お金の勉強など
- もっと学力を伸ばして、個人の能力も発揮できる場を提供して貰える学校教育を期待します。
- 先生方の働き方改革による、児童や生徒への目配り、また様々な活動が狭まったり、経験できる場が減ることに心配があります。
- 統合はやむを得ないと思うが、教職員の適正な人数の確保と質の維持をお願いしたい。
- 働き方改革によって、先生方の負担がなくなる一方、子供らに対する対応などに熱心さが伝わらない感が垣間見える。もちろん、先生も一人の人間なので無理はしてもらいたくはないが、統合する事で少しでも教員の人数を増やし生徒一人一人にきめ細やかな対応ができるとありがたい。
- 人数が少なくても、生徒や先生が自分の学校を自慢できるような充実したプログラムがあれば、家族や地域も安心して協力できると思います。今後の社会の在り方も今までと変わってきていて多様化しているので、将来の就職に必要な能力も多様化しそうです。学力意外にも修得できる科目が多様化したらおもしろいと思いました。
- 学校内においてフリースクールのような場所を確保し、多様な子供たちの受け皿になる空間を作ってほしい。子供たちを一つの型にはめないような学校教育が行われるようになるといい

- 先生がたの負担になりすぎない指導のなかで(しっかり休日をとるなど)、郷土に愛着と誇りをもち地元や他地域でも活躍できる心を持った子を育てて欲しいです。
- 少人数のクラスで先生を増やして一人一人の生徒や児童に目を向けることで、その子の能力を最大限に伸ばせるようにすること。
- 先生によっては子供の前で態度が変わる方もいらっしゃると思います。先生、生徒のコミュニケーションが上手く行くような運営をお願いし、子供が先生を慕って成長していけるような学校生活を送ってもらいたいと思います。
- 生徒に注意する際に、先生の態度が威圧的であったり怒りを言葉に乗せないでほしい。教師が生徒へ教えるという一方通行の授業ではなく、ディスカッション、生徒同士の話し合いの場や先生も一緒に学んでいるような授業であってほしい。生徒と教師と一緒に笑い合えるような楽しく学べる授業であってほしい。電磁波に敏感な子もいるし、電磁波による学力の低下も証明されているため、ICT活用をできる限り減らしてほしい。生徒が理想像の大人となるような教師の確保をどうかお願い致します。
- 他の地域と比べて、皆野町で育った子どもたちは優秀だと言われるような、特色ある教育をお願いします。保護者の負担軽減として、修学旅行など学校行事に係る費用の補助を行って欲しい。
- 多様性の時代、子供それぞれの個性を伸ばせるような教育が必要だと思う。

5. その他

- 1年生のうちから読書感想文を宿題に出すのはやめてほしいです。作文の書き方もわからないのに書くことは難しくほぼ親の宿題になっています。しっかりと子供が1人で行う宿題ならいいですが、人権標語などほぼ親が考えなきゃいけないような宿題を出すのはどうかと思います。今は共働きしないとやっていけない時代なのに、親と一緒にやる課題が多すぎるかなと感じます。子どもと過ごす時間はありますが宿題が多いとゆっくり過ごすことができません。
- 小学校も中学校も、PTAの負担が大きい。その為に時間を作らないといけない。昔と今は違うので、いい加減考えてほしい。
- 学校教育以前に、保育施設の充実をお願いしたいと思います。子供が減少していると言う前に安心して産める環境を作る事が大事だと思います。子供が減っているのに預けたい時に近くの保育園に預けることが出来ないという矛盾。子供が預けやすい町になれば、もう少し子供も増えそうな気がします。
- 教職員の質が悪すぎます。画一的な型にはめたがり、そこから出る生徒は異端として指導対象になっている様子をしばしば見ます。先生が原因の不登校生徒もおり、子どもや地域に何かを問う前に自分たちが社会人としてまっとうになるように努力されることを期待します。
- 平成を乗り越えて今は令和 凝り固まった学校教育も必要かもしれないが、時代に合っていない。まず、周りと同じ、みんな同じが当たり前という概念が根強く、少しみんなと違うことをすると総叩きにあう。友達だけでなく先生からも。別に違っていいんだ！と子供自身が思えない状況を学校が作り上げている。
- 子どもの数を減らさない(流出させない)ための施策、廃校にせざるを得ないのであれば、学校跡地の有効活用検討、その収益によって得られる子どもたちの教育にフィードバックできる価値をトータルで検討してほしいと思います。
- 統合は不可欠だと思いますが、子どもたちの変化への負担等考えると、皆野小に2校を統合するのが良いと思います。皆野小の校歌などもそのまま残してほしいです。(他町で統合した学校では、事実上吸収統合ですが校歌等も新しく変えて、全ての歴史が消えてしまうようでとても残念に思いました。)
- 現状を考えると小学校の統合はいずれ仕方ないことだと考えます。統合後の跡地(国神小、三沢小)の有意義な活用についても検討をお願いします。地域にとって学校の存在はとても大きなものです。学校自体はなくなっても地域をつなぐ機能を持つ施設であり続けてほしいです。

- PTA など今後の学校の対応を保護者と子供両方で考えて欲しい
- 児童生徒数の推移を見る限り、小学校を1校への統合は妥当だと感じます。
- 不登校になった場合のフリースクールがあるのか、こういった支援をしてもらえるの、詳しく知りたいです。
- 年々、不登校の児童生徒が増加しているように感じます。統合に伴い、環境の変化で改善される児童生徒もいると思います。逆に、環境の変化に、適応しづらい、繊細なお子さんも増えている時代です。教職員の方々が、児童生徒保護者に寄り添って、解決の糸口を見つけて欲しいと思います。
- 毎日の音読や宿題のまるつけなどの親の負担軽減
- 教員の働き方改革等も同時に進めていただきたいと思います。三沢小では、学校に行くたびに担任以外も声をかけてくれ、子どもの様子を教えてくれ、些細な相談もすぐにでき学校全体で育てていただいている感覚です。皆野小の様子はわかりませんが、教員の心と体・時間に余裕があるのが良い教育が出来る大前提だと思います。また、行事の見直しや PTA 活動の見直しも進めて欲しいです。
- 問 5 の『その他』の欄でも幾らか書きましたが、近年の教育委員会の方針には弱い日本人を作ろうとする外国勢力の圧力・破壊工作が多分に入っています。分かり易いところ言えば、SDGs の嘘です。皆野町教育委員会におかれましては、政府の嘘をよく勉強して、強い皆野っ子を育てるにはどうすれば良いか、自分達で考えて行動される事を希望いたします。
- 三沢小学校での教職員のきめ細かな対応を経験した後の皆野中学校は悶々とする3年間でした。保護者への連絡、児童への対応、教員への相談しやすい環境づくり等、すべて雑に感じました。もう少し家庭と連携をとり寄り添った教育ができないものなのではないでしょうか。
- 毎朝安心して送り出せる小学校であってほしいです。
- 春夏冬の長期休み中に、町で塾を開いて欲しいです。小学校六年生くらいから、中学生を対象にし、復習や基礎の繰り返しが出来ると良いと思います。受講料は安くまたは無料にいただけると、受けやすいと思います。他にも、長期休みには小中学生にはもっとすすんで漢検、英検が受けられ、絵画を学ぶ時間、科学の不思議などを体験する機会など、様々な分野に子どもが触れられる場があると、みなさん喜んで参加すると思います。また、時には小中学生の親子を集めて何か一つの目標に取り組み、(例:親子マラソン、町民運動会など)親子のコミュニケーションを深める機会、また、町民同士の繋がりを増やす機会があると、親も子もコミュニティ参加への抵抗が減り楽しみへと繋がり、子どもも親もより郷土愛が深まったりするのではないかと思います。皆野横丁や秩父音頭祭りへ行ったとき、とてもたくさんの方が参加しているのを感じ、もっと親子で楽しめる場が増えてくれたらいいなと思いました。子どもも親も顔見知りの人がたくさん集う場所が好きだし、安心するし、何より何かを学ぶことが出来るのはとても有意義な休みになると思いました。
- 児童の減少は皆野町だけではないと思いますが、若い世代が移住できる様に町民と会話ができる機会があるといいと思います
- ゆとり世代の先生が、ゆとり世代の親が育てた子供の教育をする。40代以上の昔ながらの教育方針の先生が現場を譲る。色々と制限されて行く学校生活、良いのか悪いのか。。
- よりよい教育環境のために統合が不可欠である、という判断にいたったことは紙面から理解できましたが、検討の段階を委員会のみで行い、保護者や地域の皆様の意見を聞く機会をこれまで設けていなかったことに疑問をもちます。統合ありきでのアンケートは反発も多くなるのではないかと感じます。長瀬、小鹿野に続き、小中一校化が流れとなっているなかで、皆野町の特色として小規模校の存続に目を向けるという考えもあるのではないのでしょうか。予算、教員の確保など課題が山積していることも理解できます。しかし、それらの課題に向き合い、独自の教育環境を打ち出すことで、今後の町のPRや発展にもつながっていくのではないかと思います。

皆野町学校教育の在り方に関する保護者アンケート
調査結果
令和6年 10 月

発行・編集：皆野町教育委員会
〒369-1412

埼玉県秩父郡皆野町皆野 1423 番地
TEL: 0494-62-4563 FAX: 0494-62-4571